

植物の生き残り戦略

2023.11.11 (土)
於 東京都薬用植物園
きき手：東京生薬協会職員
池村 国弘 (池兄)

山下 智道 やました・ともみち

野草研究家。福岡県北九州市出身。登山家の父のもと幼少より大自然と植物に親しみ、野草に関する広範で的確な知識と独創性あふれる実践力で高い評価と知名度を得ている。国内外で多数の観察会・ワークショップを開催。TV出演・雑誌掲載等多数。著書に『野草と暮らす 365日』(山と溪谷社/2018)、『なんでもハーブ 284(ポケット図鑑)』(文一総合出版/2020)『ヨモギハンドブック』(文一総合出版/2023)ほか。近年は、海外のハーブ事情を精力的にリサーチ中。

植物の戦略を垣間見る ～まだ見ぬフィールドへの進出～

風媒花を選んだキク科～ヨモギ属ほか



ヨモギ (カズザキヨモギ)



キタダケヨモギは再び虫媒花へ…



ブタクサ

みんなが休んでるときに活動～早春植物



セツブンソウ



エンゴサク (中国原産・薬用)



カタクリ

遠くへ行きたい～たねの旅路



ケヤキ (枯葉で風に乗る)



マンゴスチン (動物被食散布)
人間が食べても美味しい!



栽培イネ：もはや自生できない
もしかして人間を利用している?

めくるめく薬草とハーブを訪ねて ～タイの青果・薬草市場から～

